

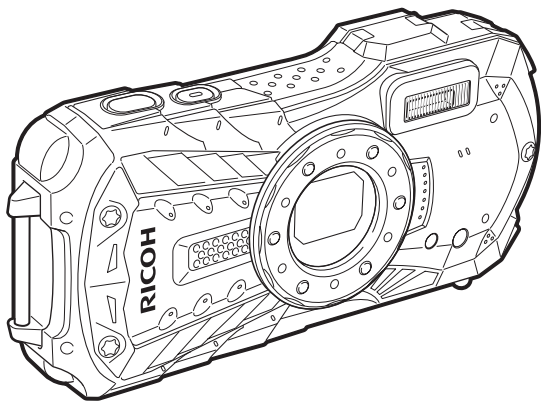
RICOH



デジタルカメラ

RICOH WG-50

スタートガイド



カメラの正しい操作のため、
ご使用前に本書をよくお読みください。

はじめに

このたびは、RICOH WG-50をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この「スタートガイド」では、本機をお使いになるまでの準備と基本的な使い方を説明しています。正しい操作のために、ご使用前に本書をよくお読みください。

さまざまな撮影方法や設定などの詳しい使い方については、当社ホームページで公開している「使用説明書」(PDF)をご覧ください。

「使用説明書」の詳細は、p.54を参照してください。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々における、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

「Eye-Fi」、「Eye-Fi connected」およびEye-FiロゴはEye-Fi,Inc.の登録商標です。

本製品は、PRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンタでは、一部機能が反映されません。「PRINT Image Matching」「PRINT Image Matching II」「PRINT Image Matching III」に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

その他、記載されている全ての商標は、その所有者に帰属します。

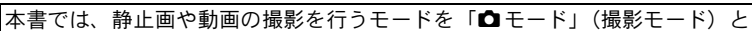
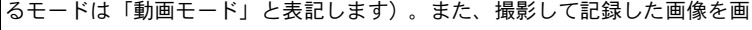
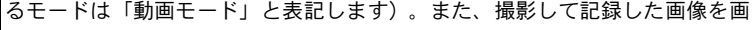
本機を使用するにあたって

- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

本書ではSDメモリーカードならびにSDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードのことをSDメモリーカードと表現しています。

本書では、静止画や動画の撮影を行うモードを「モード」（撮影モード）と表記します（静止画を撮影するモードは「静止画撮影モード」、動画を撮影するモードは「動画モード」と表記します）。また、撮影して記録した画像を画像モニターに表示するなど再生を行うモードを「モード」（再生モード）と表記します。モードでは、再生した画像に簡単な画像処理を加えることもできます。

操作説明中で使用されている表記の意味は次のとおりです。

	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
	知っておくと便利な情報などを記載しています。
	操作上の注意事項などを記載しています。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意してお使いください。



警告

このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意

このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

本体について

警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

充電用電源アダプターとACアダプターについて

警告

- 充電用電源アダプターとACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

注意

- USBケーブルやACコードの上に重いものを載せたり、落したり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしUSBケーブルやACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、電源アダプターやACコードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落したりしないでください。故障の原因となります。
- 充電用電源アダプターで充電式リチウムイオンバッテリー D-LI92 以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとすると、発熱や爆発、接続先機器の故障の原因となります。

バッテリーについて

警告

- バッテリーは乳幼児の手の届かない所に保管してください。特に、口に含むと感電の恐れがありますのでご注意ください。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

注意

- このカメラでは、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 1. 専用の充電用アダプター以外では絶対に充電しないこと。
 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

警告

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受ける恐れがあります。
 2. ストラップを首に巻き付け、窒息する恐れがあります。
 3. バッテリーや SD メモリーカードなどの小さな付属品を飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証はご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。

バッテリー・充電用アダプターについて

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、電池寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 破損や故障、また防水性能が損なわれる原因となりますので、強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動からは、クッションに包むなどして保護してください。万が一、強い振動・ショック・圧力などが加わってしまったら、当社のサービス窓口にて点検にお出しください。
- カメラの使用温度範囲は-10～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり画像モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブローアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。

保管について

- ・ 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- ・ 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- ・ 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- ・ 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

その他

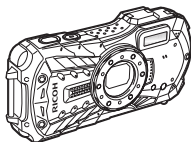
- ・ SD メモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
画像モニターにはと表示されます。
- ・ カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- ・ SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- ・ SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- ・ SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- ・ SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますのでご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 - (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 - (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 - (3) 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 - (4) SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、電池を抜いたとき
- ・ 長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- ・ SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- ・ 一部の書き込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影／再生時に動作が遅くなる場合があります。
- ・ 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- ・ フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・ SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。



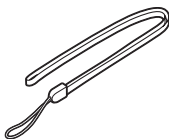
目次

ご注意ください	1
取り扱い上の注意	4
目次	6
主な同梱品の確認	7
各部の名称	8
操作部の名称	9
画像モニターの表示	12
☑モードの表示	12
☐モードの表示	13
ガイド表示	14
電源を準備する	15
バッテリーをセットする	15
バッテリーを充電する	17
SDメモリーカードをセットする	19
電源をON/OFFする	21
再起動モード	21
初期設定をする	22
言語を設定する	22
日時を設定する	23
カメラの機能を設定する	24
メニューの操作のしかた	24
メニュー一覧	26
設定をリセットする	29
スタイルウォッチを使う	29
静止画を撮影する	30
標準的な撮影のしかた	30
ズームを使って撮影する	32
撮影モードを設定する	33
セルフタイマーを使って撮影する	36
撮影のための機能を設定する	38
撮影メニューを設定する	38
フラッシュの発光方法を選択する	39
ピントの合わせ方を選ぶ（フォーカスモード）	40
動画を撮影する	43
動画を撮影する	43
動画ボタンで簡単に動画を撮影する	44
再生する	45
静止画を再生する	45
動画を再生する	45
再生機能を使う	46
消去する	49
1画像ずつ消去する	49
付録	50
主な仕様	50
アフターサービスについて	54
「使用説明書」のご案内	54
ユーザー登録のお願い	54

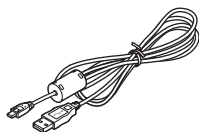
主な同梱品の確認



本体
RICOH WG-50



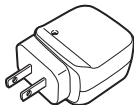
ストラップ
O-ST104 (※)



USBケーブル
I-USB157 (※)



充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI92 (※)



充電用電源アダプター
D-PA164J



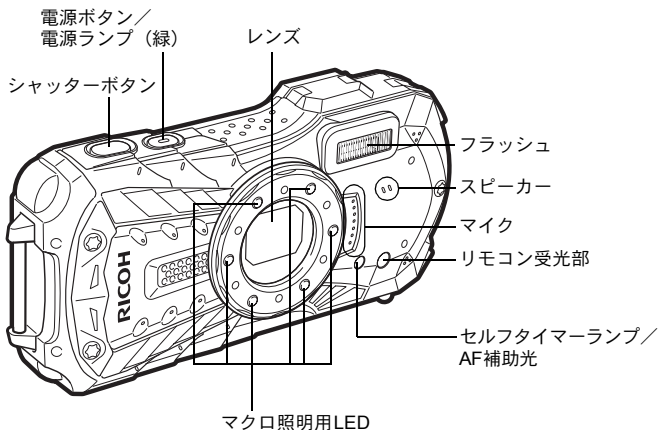
マクロスタンド
O-MS1

保証書
スタートガイド (本書)
防水・防塵・耐衝撃性能
についての注意

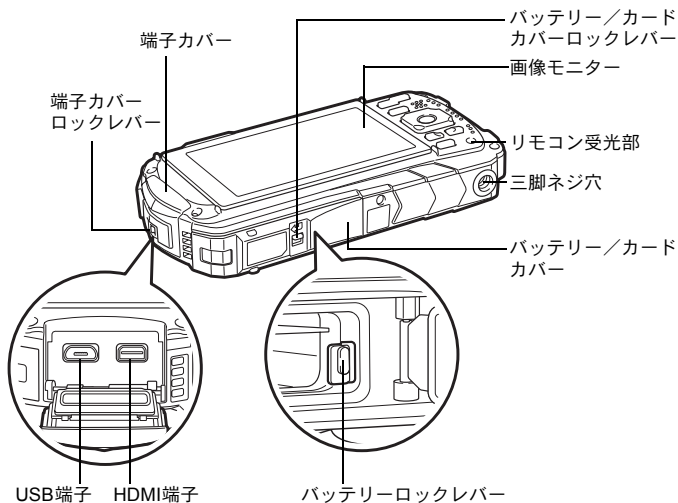
※ 別売アクセサリとしてもご用意しております。

各部の名称

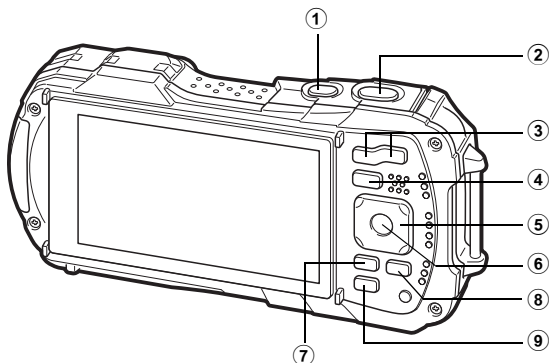
前面



背面



操作部の名称



① 電源ボタン

電源をON/OFFします (p.21)。

② シャッターボタン

☑モード時：

静止画撮影モードでは、半押しするとピント合わせを行います（フォーカスモードが、PF、▲、MFのときを除く）（p.30）。

全押しすると、静止画を撮影します（p.31）。

🎞（動画）、📹（マーメイドムービー）、📷（ハイスピードカメラ）モードでは、全押しすると動画の撮影を開始、終了します（p.43）。

▶モード時：

☑モードに切り替えます。

③ ズーム/Ⓜ/Ⓣボタン

☑モード時：

撮影する範囲を変えます（p.32）。

▶モード時：

1画面表示時に☑側を押すと6画面表示になります。もう一度☑側を押すと12画面表示になります。Q側を押すと、前の表示に戻ります。

1画面表示時にQ側を押すと画像が拡大表示されます。☑側を押すと前の表示に戻ります。

12画面表示時に☑側を押すと、フォルダー表示またはカレンダー表示になります。

フォルダー表示時／カレンダー表示時にQ側を押すと、12画面表示になります。

動画再生中は音量調節をします（p.45）。

④

▶ ボタン**■**モード時：

▶モードに切り替えます。

▶モード時：

■モードに切り替えます。

⑤

十字キー**■**モード時：

(▲) : ドライブモードを切り替えます (p.36)。

(▼) : 撮影モードパレットを表示します (p.34)。

(◀) : フラッシュモードを切り替えます (p.39)。

(▶) : フォーカスモードを切り替えます (p.40)。

(▲▼) : フォーカスモードが**MF**のときにピントを調整します (p.41)。

▶モード時：

(▲) : 動画を再生／一時停止します (p.45)。

(▼) : 再生モードパレットを表示します (p.48)。
再生中の動画を停止します (p.45)。(◀▶) : 1画面表示時は、前後の画像を表示します (p.45)。
動画再生時は、早送り／早戻し／コマ送り／コマ戻しをします (p.45)。(▲▼◀▶) : 拡大表示時は、表示範囲を移動します。
6画面表示／12画面表示時は画像、フォルダー表示時はフォルダー、カレンダー表示時は日付を選択します。
オリジナルフレーム時は、フレームや画像の位置を調整します。

⑥

OK ボタン**■**モード時：

画像モニターに表示される情報を切り替えます (p.12)。

▶モード時：

画像モニターに表示される情報を切り替えます (p.13)。

拡大表示／6画面表示／12画面表示時は、1画面表示に戻ります。
フォルダー表示時は、選択フォルダーの12画面表示に変わります。
カレンダー表示時は、選択日付の1画面表示に変わります。

⑦

MENU ボタン**■**モード時：静止画撮影モードのときは、「**撮影**」メニューを表示します。動画モードのときは、「**動画**」メニューを表示します (p.24)。

▶モード時：

1画面表示時は、「**設定**」メニューを表示します (p.24)。

再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります (p.47)。

拡大表示／6画面表示／12画面表示時は、1画面表示に戻ります。
カレンダー／フォルダー表示時は、最新画像にカーソルを合わせた12画面表示に変わります。

⑧ 動画ボタン

📷モード時：

静止画撮影モードのときに押すと、動画の撮影が始まります (p.44)。

⑨ グリーン/🍀ボタン

📷モード時：

● (グリーン) モードに移行します。

特定の機能をすばやく呼び出します。

▶モード時：

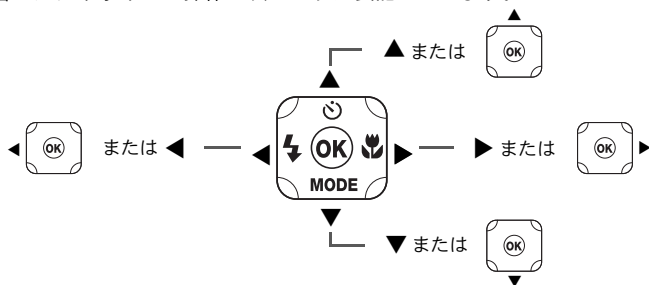
1画面表示時は、消去画面に移行します (p.49)。

6画面表示／12画面表示時は、選択消去画面に移行します。

フォルダー表示時は、カレンダー表示画面に移行します。

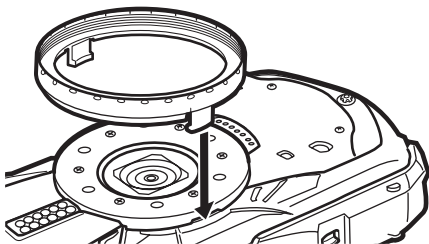
カレンダー表示時は、フォルダー表示画面に移行します。

本書では、十字キーの操作を次のように表記しています。



マクロスタンドについて

付属のマクロスタンド (O-MS1) を使うと、🔍 (デジタル顕微鏡) モードでの撮影時の手ぶれを防ぐことができます。2箇所ツメをマクロ照明用LED部の上下に差し込んでください。取り付け・取外しの際は、ツメのない部分を持ってください。



* マクロスタンドを使用する場合、被写体に凹凸があると、ピン트가合わないことがあります。

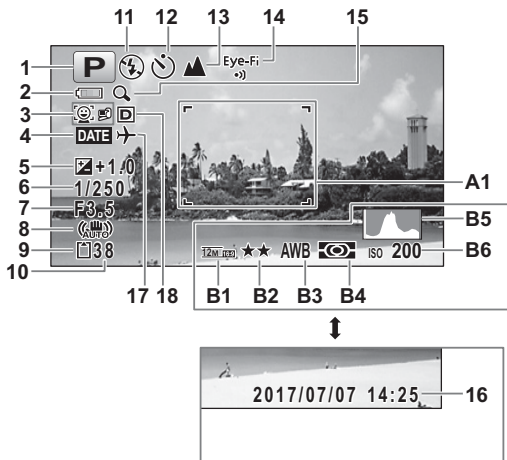
画像モニターの表示

カメラモードの表示

OK ボタンを押すたびに、画像モニターの表示が「通常表示」「ヒストグラム＋情報表示」「グリッド表示」「情報表示なし」「LCDオフ」に切り替わります。

静止画撮影モード 通常表示／ヒストグラム＋情報表示／グリッド表示

「通常表示」では1～18・A1が表示されます。「ヒストグラム＋情報表示」では16の位置にB1～B6が表示されます。「情報表示なし」、「グリッド表示」ではA1のみ表示されます。



- 1 撮影モード (p.33)
- 2 バッテリー残量表示 (p.18)
- 3 顔検出アイコン
- 4 日付写し込み設定中
- 5 露出補正值
- 6 シャッター速度
- 7 絞り値
- 8 手ぶれ補正アイコン
- 9 メモリー状態表示 (p.21)
- 10 撮影可能枚数
- 11 フラッシュモード (p.39)
- 12 ドライブモード (p.36)
- 13 フォーカスモード (p.40)

- 14 Eye-Fi通信状態表示
- 15 デジタルズーム／インテリジェントズーム表示 (p.32)
- 16 現在の日時 (p.23)
- 17 ワールドタイム設定中
- 18 D-Range設定
- A1 フォーカスフレーム (p.30)
- B1 記録サイズ
- B2 画質
- B3 ホワイトバランス
- B4 測光方式
- B5 ヒストグラム
- B6 感度

- ※ 6・7は、シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます。
- ※ 8は、「 撮影」メニューの「手ぶれ補正」が「☒ (オン)」に設定されていると、 が表示されます。「手ぶれ補正」が「☐ (オフ)」に設定されていて、手ぶれの危険がある場合にシャッターボタンを半押しすると、 が表示されます。
- ※ 13は、フォーカスモードが **AF** に設定されているときにオートマクロ機能が作動すると が表示されます (p.40)。
- ※ 14の表示は「 設定」メニューの「Eye-Fi」の設定によって変わります。
- ※ 16は、電源をオンにしてから2秒間だけ表示されます。
- ※ 18の表示は、「 撮影」メニューの「D-Range設定」の設定によって変わります。「ハイライト補正」と「シャドウ補正」の両方が「オフ」に設定されているときは何も表示されません。
- ※ 撮影モードが (オートピクチャー) のときは「情報表示なし」でも、シャッターボタンを半押しすると、A1の位置に選択されたモードが表示されます。
- ※ 画面の中で明るすぎて白くとんでしまう部分がある場合、その部分が赤の点滅で警告表示されます。また暗すぎて黒くつぶれてしまう部分がある場合、その部分が黄色の点滅で警告表示されます。
- ※ 撮影モードによっては表示されない情報もあります。

再生モードの表示

再生時には、撮影したときの画像の情報が表示されます。**OK** ボタンを押すと、表示が切り替わります。

再生モード 通常表示／ヒストグラム＋情報表示

(説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。)

撮影条件などを表示します。「通常表示」ではA1～A10が表示されます。「ヒストグラム＋情報表示」のときにはB1～B8も表示されます。



- | | |
|----------------------------|------------------------|
| A1 顔検出アイコン | A9 Eye-Fi通信状態表示 |
| A2 再生モード表示 | A10 音量表示 |
| ▶ : 静止画 (p.45) | B1 シャッター速度 |
| 📹 : 動画 (p.45) | B2 絞り値 |
| A3 バッテリー残量表示 (p.18) | B3 ヒストグラム |
| A4 画像プロテクト表示 | B4 感度 |
| A5 十字キーガイド表示 | B5 記録サイズ |
| A6 ファイル番号 | B6 画質 |
| A7 フォルダー番号 | B7 ホワイトバランス |
| A8 メモリー状態表示 (p.21) | B8 測光方式 |

※ A1は、撮影時に顔検出した場合のみ表示されます。

※ A3は、通常表示時に2秒間何もボタン操作をしないと消えます。

※ A5は「情報表示なし」時でも表示されますが、2秒間何もボタン操作をしないと消えます。また「通常表示」「ヒストグラム+情報表示」時に2秒間何もボタン操作をしないと、「編集」の文字のみ消えます。

※ A10は、動画再生中に音量調節をしているときのみ表示されます (p.45)。

※ 「通常表示」時には、B4～B8の位置に、撮影日時が2秒間だけ表示されます。

※ 画面の中で明るすぎて白くとんでいる部分がある場合、その部分が赤の点滅で表示されます。また暗すぎて黒くつぶれている部分がある場合、その部分が黄色の点滅で表示されます。

ガイド表示

操作中は、画像モニターにボタン操作のガイドが次のように表示されます。

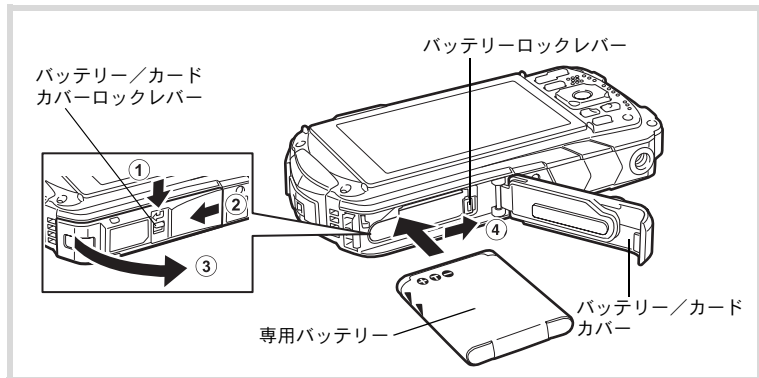
▲	十字キー (▲)
▼	十字キー (▼)
◀	十字キー (◀)
▶	十字キー (▶)
MENU	MENU ボタン

	ズームボタン
OK	OK ボタン
SHUTTER	シャッターボタン
(緑) /	グリーン/白 ボタン
(赤)	動画ボタン

電源を準備する

バッテリーをセットする

付属の充電式リチウムイオンバッテリー（D-LI92）をセットします。



1 バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向にバッテリー／カードカバーロックレバーを押しながら、②の方向にスライドさせ、③の方向に開けます。

2 バッテリーのPENTAXロゴ面をカメラのレンズ側に向け、バッテリーの側面でバッテリーロックレバーを矢印④の方向に押しなが

ら挿入する

ロックされるまでバッテリーを挿入してください。

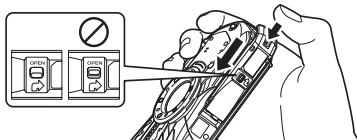
注意

逆向きに挿入すると、カメラの電源が入らないだけでなく、故障の原因にもなります。

3 バッテリー／カードカバーを閉じる

バッテリー／カードカバーをしっかりと押さえながら②と反対方向にスライドさせ、カチッと音をたててロックされたことを確認します。

本製品は防水性能強化のため、パッキンに厚みをもたせています。そのため、バッテリー／カードカバーの開閉が固めになっています。バッテリー／カードカバーの[PUSH]の位置を親指でしっかりと押さえながら、黄色の指標が見えなくなるまでスライドさせてください。



バッテリーを取り出す

1 バッテリー／カードカバーを開ける

2 バッテリーロックレバーを矢印④の方向に押す

バッテリーが少し飛び出します。落とさないように気をつけて引き抜いてください。

注意

- ・バッテリー／カードカバーを開閉するときは、防水パッキンが外れるおそれがありますので、カメラの前後方向に無理な力を加えないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると、カメラの防水性能が発揮できなくなります。
- ・バッテリー／カードカバーを閉じるときは、ロックがしっかりされていないと、カメラ内部に水・砂・泥が入る原因となります。
- ・充電式リチウムイオンバッテリー-D-LI92が、このカメラの専用バッテリーです。他のバッテリーを使用すると、カメラが破損し作動しなくなることがあります。
- ・バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると故障の原因になります。
- ・電源がONのときはバッテリーを取り出さないでください。
- ・バッテリーを半年以上長期保存する場合は、充電用電源アダプターで30分程度充電し、本体から外した状態で保管してください。その後、半年から1年ごとに再充電してください。また、高温になる場所は避け、できるだけ室温以下を保持できるような場所に保管してください。
- ・長期間本体にバッテリーをセットしないと、日時の設定がリセットされることがあります。
- ・カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。
- ・バッテリーを交換する際は、カメラが完全に乾いてから、濡れたり汚れたりしやすい場所を避け、濡れた手をよく拭いてから行ってください。

● リサイクルについて

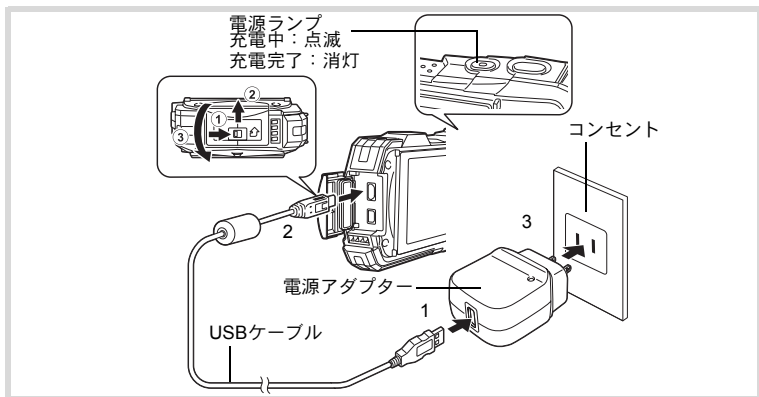


Li-ion00

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープを貼って、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや長時間使用しなかったとき、「電池容量がなくなりました」というメッセージが表示されたときは、付属の充電用電源アダプター (D-PA164J) を本機に接続して充電してください。



1 カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

①の方向に端子カバーロックレバーを押しながら、②の方向にスライドさせ、③の方向に開けます。

2 充電用電源アダプターにUSBケーブルを接続する

3 USBケーブルを本体に接続する

4 電源アダプターをコンセントに差し込む

充電中は電源ランプが点滅します。

充電が完了すると、電源ランプが消灯します。

充電中は、端子カバーは閉じなくなります。充電中はカバーを開けたまま、無理に閉じないでください。

5 充電終了後、コンセントから電源アダプターを外す

6 本体からUSBケーブルを外す

7 端子カバーを閉じる

③と反対方向に閉じ、カバーを軽く押さえながら、②と反対方向にカチッと音がするまでスライドさせます。

注意

- ・付属の充電用電源アダプター (D-PA164J) は、本機に接続してバッテリーを充電する以外には使用しないでください。接続先機器の破損や発熱の原因となります。
- ・正しく充電しても使用できる時間が短くなったらバッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。
- ・カメラをコンセントに接続しても、インジケータランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。



- ・充電時間は、最大で約120分です（周囲の温度や充電状態によって異なります）。周囲の温度が0～40℃の範囲で充電してください。
- ・カメラ本体で充電中は、カメラの電源は入りません。

・静止画撮影可能枚数と動画撮影、再生時間の目安 (23℃・画像モニター点灯・専用バッテリーフル充電時)

静止画撮影可能枚数※1 (フラッシュ使用率50%)	動画撮影時間※2	再生時間※2
約300枚	約90分	約260分

※1 撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。(CIPA規格抜粋：画像モニター ON、フラッシュ使用率50%、23℃)

※2 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。



- ・使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- ・海外旅行など長期のお出かけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。

・バッテリーの残量表示

画像モニターの表示で、バッテリーの残量が確認できます。

画像モニター表示	バッテリーの状態
(緑)	バッテリーがまだ十分に残っています。
(緑)	少し減っています。
(黄)	だいぶ減っています。
(赤)	残量がほとんどありません。
「電池容量がなくなりました」	メッセージ表示後、電源が切れます。

SDメモリーカードをセットする

このカメラでは、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードが使用できます。撮影した画像はカメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます（p.21）。

注意

- ・未使用または他のカメラやデジタル機器で使用した SD メモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマット（初期化）してからご使用ください。
- ・SDメモリーカードのセット／取り出しは、必ずカメラの電源を切った状態で行ってください。
- ・SDメモリーカードを交換する際は、カメラが完全に乾いてから、濡れたり汚れたりしやすい場所を避け、濡れた手をよく拭いてから行ってください。
- ・バッテリー／カードカバーを開閉するときは、防水パッキンが外れるおそれがありますので、カメラの前後方向に無理な力を加えないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると、カメラの防水性能が発揮できなくなります。



- ・撮影できる静止画の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズ・画質によって異なります（p.51）。
- ・SDメモリーカードにアクセス中（データの記録や読み出し中）は、電源ランプが点滅します。

データバックアップのお勧め

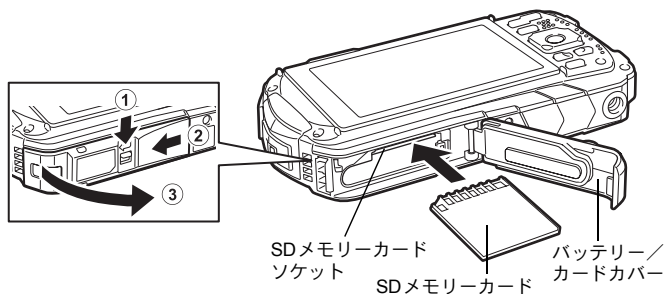
内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをお勧めします。

内蔵メモリー内のデータの表示について

SDメモリーカードがセットされているときは、SDメモリーカード内の画像、動画が表示されます。内蔵メモリー内の画像、動画を表示する場合は、SDメモリーカードを取り出してください。

注意

SDメモリーカードは、必ずカメラの電源が切れた状態で取り出してください。



1 バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向にバッテリー／カードカバーロックレバーを押しながら、②の方向にスライドさせ、③の方向に開けます。

2 SDメモリーカードのラベル面をカメラのレンズ側に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードは奥までしっかり押し込んでください。カードがしっかり入っていないと、画像が正常に記録されないことがあります。

取り出すときは、SDメモリーカードをさらに押し込むとSDメモリーカードが少し飛び出すので、引き抜いてください。

3 バッテリー／カードカバーを閉じる

バッテリー／カードカバーをしっかりと押さえながら②と反対方向にスライドさせ、カチッと音をたててロックされたことを確認します。

注意

バッテリー／カードカバーを閉じるときは、ロックがしっかりされていないと、カメラ内部に水・砂・泥が入る原因となります。

メモ

- 撮影した画像の記録サイズなどによって画像のファイルサイズは異なり、SDメモリーカードに記録できる枚数は異なります。
- 静止画の記録サイズの設定は「 撮影」メニューで、動画の記録サイズの設定は「 動画」メニューで行います。
- SDメモリーカードに記録できる撮影可能枚数／時間の目安については、「付録」(p.50)をご覧ください。

電源をON／OFFする

1 電源ボタンを押す

電源が入り、電源ランプと画像モニターが点灯します。
カメラの電源を入れたときに、「言語設定」あるいは「日時設定」の画面が表示された場合は、p.22の手順に従って設定してください。

2 もう一度電源ボタンを押す

電源が切れ、電源ランプと画像モニターが消灯します。

静止画を撮影する  p.30

カードチェック

電源を入れると、カードチェックが行われ、メモリーの状態が表示されます。

	SDメモリーカードがセットされています。画像は、SDメモリーカードに記録されます。
	SDメモリーカードがセットされていません。画像は、内蔵メモリーに記録されます。
	SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっています (p.5)。画像の記録はできません。



メモリー状態表示

再生起動モード

再生起動モードは、撮影をしないで、すぐに画像を再生したいときに使します。

1 ボタンを長押しする

画像モニターが点灯し、再生モードで起動します。



- 再生モードで起動後に撮影モードへ切り替えるときは、 ボタンを押すかシャッターボタンを半押ししてください。
- 再生起動モードをオフにしたいときは「 設定」メニューの「ダイレクト起動」で「再生起動」を「 (オフ)」に設定します。

静止画を再生する  p.45

初期設定をする

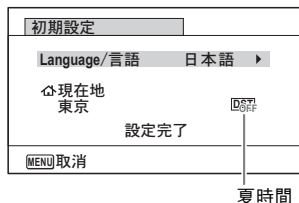
カメラの電源を入れて「Language/言語」画面が表示されたら、下記の「言語を設定する」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定する」(p.23)の手順で現在の日時を設定してください。

言語を設定する

1 十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

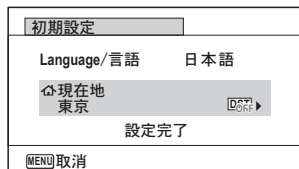
2 OK ボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。「現在地」が東京、「夏時間」が $\square$ に設定されていたら、手順9に進みます。



3 十字キー（▼）を押す

選択枠が「 $\triangle$ 現在地」に移動します。



4 十字キー（▶）を押す

「 $\triangle$ 現在地」画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で「東京」を選ぶ

6 十字キー（▼）を押す

選択枠が「夏時間」に移動します。

7 十字キー（◀▶）で $\square$ （オフ）に設定する

8 OK ボタンを押す

「初期設定」画面が表示されます。

9 十字キー（▼）で「設定完了」を選ぶ

10 OK ボタンを押す

「日時設定」画面が表示されます。引き続き、日付と時刻を設定します。

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付・時刻を設定します。

1 十字キー (▶) を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

2 十字キー (▲▼) で日付の表示スタイルを選ぶ

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選択します。

日時設定	
表示スタイル	年/月/日 24h
日付	2017/01/01
時刻	00:00
設定完了	
MENU 取消	

3 十字キー (▶) を押す

選択枠が「24h」に移動します。

4 十字キー (▲▼) で「24h」(24 時間表示) または「12h」(12 時間表示) を選ぶ

5 十字キー (▶) を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6 十字キー (▼) を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7 十字キー (▶) を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

8 十字キー (▲▼) で西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。

続いて時刻を設定します。

9 十字キー (▼) で「設定完了」を選ぶ

10 OK ボタンを押す

日時が確定します。



手順10でOK ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせてOK ボタンを押すと、秒単位まで正確に日時が設定できます。



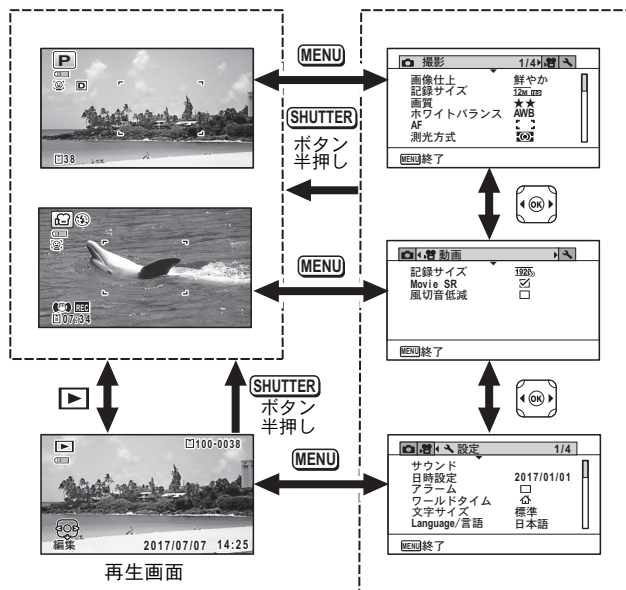
初期設定の途中でMENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。

カメラの機能を設定する

カメラの設定を変更するときは、**MENU** ボタンを押して、「📷撮影」メニューまたは「⚙️設定」メニューを呼び出します。また、画像の再生／編集に関する機能は、再生モードパレットから呼び出します。

メニューの操作のしかた

メニューは、「📷撮影」／「🎥動画」／「⚙️設定」の3種類があります。静止画撮影モードで**MENU** ボタンを押すと、「📷撮影」メニューが表示されます。動画モードで**MENU** ボタンを押すと、「🎥動画」メニューが表示されます。📺モードで**MENU** ボタンを押すと、「⚙️設定」メニューが表示されます。各メニューは、十字キー（◀▶）で切り替えることができます。





- メニュー操作中は、使用するボタンやキーの機能が画像モニターに表示されます。
- **MENU** ボタンの機能は、画面の状態によって異なります。ガイド表示を参照してください。

	終了	メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。
		現在の設定のまま、ひとつ前の画面に戻ります。
	取消	現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、ひとつ前の画面に戻ります。

メニュー一覧

メニュー画面で設定できる項目とその内容を示します。

「📷撮影」メニュー

撮影に関するメニューです。

項目		内容	初期設定 (撮影モード: P)
画像仕上		画像仕上がりを設定します。	鮮やか
記録サイズ		静止画像の記録サイズを選びます。	(4608 x 2592)
画質		静止画像の画質を設定します。	★★ (ファイン)
ホワイトバランス		撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	AWB (オート)
AF	AFエリア	AF (標準)、 (マクロ)、 (1cmマクロ) 時のAFエリアを設定します。	[] (マルチ)
	オートマクロ	オートマクロ機能を使うかどうかを設定します。	☒ (オン)
	AF補助光	AF補助光を発光させるかどうかを設定します。	☒ (オン)
測光方式		どの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。	(分割)
感度		感度を設定します。	AUTO (125~1600)
感度AUTO調整範囲		感度がAUTOのときの調整範囲を設定します。	125~1600
露出補正		撮影する画像全体の明るさを調整します。	±0.0
D-Range 設定	ハイライト補正	白とび補正の機能を設定します。	オート
	シャドウ補正	黒つぶれ補正の機能を設定します。	オート
手ぶれ補正		静止画撮影時の手振れ補正を行うかどうかを設定します。	☐ オフ
顔検出		人物の顔を検出してピントや露出を合わせる機能や、自分撮りアシストの機能を設定します。	(顔検出オン)
まばたき検出		顔検出したときに、まばたき検出を行うかどうか設定します。	☒ (オン)
デジタルズーム		デジタルズームを使うかどうかを設定します。	☒ (オン)

項目	内容	初期設定 (撮影モード: P)
クイックビュー	クイックビューを表示するかどうかを設定します。	☒ (オン)
モードメモリ	電源を切ったときに撮影機能の設定値を保存するか、初期設定に戻すかを設定します。	—
グリーンボタン	 モード時にグリーンボタンで呼び出す機能を設定します。	Fn設定
シャープネス	画像の境界をシャープまたはソフトにします。	 (標準)
彩度 (調色)	色の鮮やかさを設定します。画像仕上で「モノトーン」が選択されていると、項目が「調色」になります。	 標準 (調色では白黒)
コントラスト	画像の明暗差の度合いを設定します。	 (標準)
日付写し込み	静止画撮影時に日付と時刻の写し込みをするかどうかを設定します。	オフ
超解像	超解像処理を行うかどうかを設定します。	☒ (オン)
マクロ照明	マクロ撮影用のLEDを点灯するかを設定します。	☐ (オフ)



- ・「 撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で手軽に撮影を楽しみたいときは、 (グリーン) モードを利用してください。
- ・よく使う機能は、グリーンボタンに登録しておくと、すばやく呼び出せます。

「 動画」メニュー

項目	内容	初期設定
記録サイズ	動画の記録サイズとフレームレートを選びます。	 (1920 x 1080・30fps)
Movie SR	手ぶれ補正を使うかどうかを設定します。	☒ (オン)
風切音低減	風の音を低減して録音します。	☐ (オフ)

「 設定」メニュー

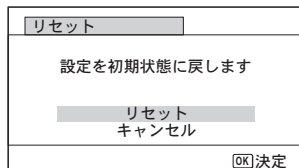
項目	内容	初期設定
サウンド	操作音量・再生音量・起動音・シャッター音・操作音・セルフタイマー音を設定します。	—
日時設定	日付と時刻を設定します。	—

項目		内容	初期設定
アラーム		アラームを設定します。	—
ワールドタイム		現在地と目的地を設定します。	—
文字サイズ		メニューの文字サイズを設定します。	標準
Language/言語		メニューやメッセージを表示する言語を設定します。	初期設定による
フォルダー名		画像を保存するフォルダーの命名方法を設定します。	日付
ファイル名		画像ファイルの命名方法を設定します。	RIMG
USB接続		USBケーブルでカメラをパソコンに接続する方法（MSCまたはPTP）を設定します。	MSC
HDMI出力		AV機器への出力解像度を設定します。	オート
Eye-Fi		Eye-Fi通信を行うかどうかを設定します。	☒ (オン)
LCDの明るさ		画像モニターの明るさを設定します。	 (標準)
アウトドアモニター		屋外での画像モニターの明るさを調整します。	 (オフ)
エコモード		節電モードになるまでの時間を設定します。	5秒
オートパワーオフ		自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	3分
クイック拡大		画像の再生時にクイック拡大機能を使うか使わないかを設定します。	☐ (オフ)
ガイド表示		撮影モードパレットや再生モードパレット表示時に、選択項目説明を表示するかしないかを設定します。	☒ (オン)
リセット		日時設定・言語・ワールドタイム以外の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。	キャンセル
全画像消去		保存されているすべての画像を消去します。	キャンセル
ピクセルマッピング		撮像素子の画素に欠けがあった場合に補完処理を行います。	キャンセル
ダイレクト起動	再生起動	再生起動を行うかどうか設定します。	☒ (オン)
	LEDライト	電源がオフの状態LEDライトの点灯を行うかどうか設定します。	☒ (オン)
	スタイルウォッチ	電源がオフの状態スタイルウォッチを表示させるかどうか設定します。	☒ (オン)
フォーマット		SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットします。	キャンセル

設定をリセットする

カメラの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

- 1 「\設定」メニューから、十字キー（▲▼）で「リセット」を選ぶ
- 2 十字キー（▶）を押す
「リセット」画面が表示されます。
- 3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ



- 4 **OK ボタンを押す**
設定がリセットされます。

スタイルウォッチを使う

カメラを時計のように使うことができます。電源がオフのときに**OK** ボタンを長押しすると、画像モニターに時計を表示します。

- 1 **OK ボタンを長押しする**
電源がオンになり、画面に時計が表示されます。
約10秒経過すると、自動的に電源がオフになります。
また、電源ボタンを押すと、すぐに電源がオフになります。



-  **OK** ボタンを押してもスタイルウォッチを表示させないようにするときは「設定」メニューの「ダイレクト起動」で「スタイルウォッチ」を「□（オフ）」に設定します。

静止画を撮影する

標準的な撮影のしかた

このカメラには、被写体やシーンに応じた多彩な撮影モードや機能が備わっています。ここでは最も標準的な設定（工場出荷時の初期設定）で撮影する手順を説明します。

1 電源ボタンを押す

電源が入り、静止画が撮影できる状態になります。本書ではこの状態を「静止画撮影モード」と表記します。

2 画像モニターを確認する

画像モニター中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。



フォーカスフレーム

カメラが人物の顔を検出すると、顔検出機能が働き、顔検出枠が表示されます。



顔検出枠

ズームボタンを押すと、被写体の写る範囲が変わります（p.32）。

右（T） 被写体を拡大して写す

左（W） 被写体を広い範囲で写す

3 シャッターボタンを半押しする

周囲が暗い場合はAF補助光が発光します。

ピントが合った位置で、フォーカスフレーム（または顔検出枠）が緑色に変わります。



シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

フラッシュは、明るさに応じて自動的に発光します。

撮影した画像は画像モニターに一時的に表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。



手ぶれの危険がある場合には、シャッターボタンを半押ししたときに▲⏏が表示されます。

シャッターボタンの押しかた

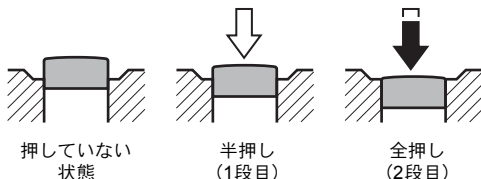
シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し

シャッターボタンを1段目まで軽く押した状態です。ピント位置と露出がロックされます。半押しの際にピントが合うと、画像モニターに緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、白い枠が点灯します。

全押し

シャッターボタンを2段目まで押しきった状態です。撮影が行われます。



ピント合わせの苦手な条件

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。その場合はいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後撮りたい位置に構図を戻してシャッターを切ります。

- ・ 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- ・ 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- ・ 細かい模様の場合
- ・ 非常に速い速度で移動しているもの
- ・ 遠近のものが同時に存在する場合
- ・ 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1 1モードでズーム/W/Tボタンを押す

左 (W) 広角：
被写体を広い範囲で写す

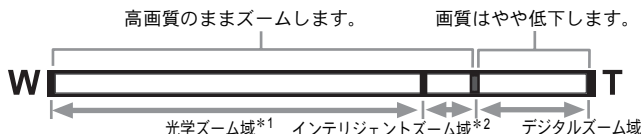
右 (T) 望遠：
被写体を拡大して写す

右 (T) を押し続けると、自動的に光学ズームからインテリジェントズームに切り替わり、デジタルズームの切り替わり点で止まります。

いったんボタンを離して、もう一度押すとデジタルズームになります。

メニュー内でデジタルズームをオフにすると、光学ズーム+インテリジェントズームの領域が使用可能です。記録サイズによりインテリジェントズームの倍率は異なります。

ズームバーは、次のように表示されます。



*1 光学5倍までズームできます。

*2 記録サイズにより、インテリジェントズーム域は変化します。次の表をご覧ください。

記録サイズと最大ズーム倍率

記録サイズ	インテリジェントズーム (倍率は光学5倍を含む)	デジタルズーム
16M / 12M F60 / 12M F60	不可 (光学5倍のみ)	約36倍相当
7M / 5M F60	約7.5倍	
5M / 4M F60	約8.9倍	
3M (※1)	約11.3倍	
2M F60	約12倍	
2M (※2)	不可 (光学5倍のみ)	約36倍相当
1280 (※2)	不可 (光学5倍のみ)	
1024	約22.5倍	
640	約36倍 (デジタルズームと同じ)	

(※1) 16M (CALS) モード設定時は、インテリジェントズーム、デジタルズームとも不可 (光学5倍のみ)

(※2) 1280 (CALS) モード設定時のみの記録サイズ



- ・高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- ・デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像が粗くなります。
- ・インテリジェントズームで高倍率に拡大すると、画像モニターの画像が粗く見えることがあります。撮影した静止画の画質には、影響はありません。
- ・デジタルズームの設定(オン/オフ)に関係なく、インテリジェントズームは使用可能です。

撮影モードを設定する

このカメラには、多彩な撮影モードが用意されています。撮影モードパレットで撮影するシーンに合った撮影モードを選ぶだけで手軽にぴったりの雰囲気の写真の撮影、動画の記録ができます。

1 カメラモードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で撮影モードを選択する

画像モニターの下部に、選んだ撮影モードの説明が表示されます。



3 OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

撮影モードパレットでは、次のモードが選択できます。

項目		内容	参照
	オートピクチャー	カメラが以下の15個のシーンから適切なシーンを自動的に判断して撮影します。	—
		 標準  夜景  夜景 ポートレート	
		 風景  花  ポートレート	
		 スポーツ  キャンドル ライト  青空	
		 人物×青空  人物×逆光  夕焼け	
		 人物×夕焼け  集合写真  テキスト	
		※ カメラがペットを検出した場合は、自動的に撮影されます。	
	プログラム	一般的な撮影に適しています。シャッター速度と絞り値はカメラが自動的に設定して撮影しますが、フラッシュの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。	—
	HDR	3枚撮影して合成することで幅広いダイナミックレンジを表現します。	—
	手持ち夜景	手ぶれの少ない夜景を撮影します。	—
	動画	動画を撮影します。音声も同時に記録されます。	p.43
	ハイスピードカメラ	スローモーションの動画を撮影します。	—
	デジタル顕微鏡	近くの被写体をより大きく写します。(2M 固定)	—
	風景	風景の撮影に適しています。木々の緑と空の青をより鮮やかに写します。	—
	花	花の撮影に適しています。花の輪郭を柔らかめに表現します。	—
	ポートレート	人物の撮影に適しています。肌色を健康的に仕上げます。	—
	マーメイド	水中での撮影に適しています。	—

項目		内容	参照
	マーマードムービー	水中での動画撮影に適しています。	—
	インターバル撮影	設定した間隔で自動的に撮影します。	—
	インターバル動画	設定した間隔で自動的に静止画を撮影し、動画として記録します。	—
	サーフ&スノー	砂浜や雪山など、背景の明るい場所での撮影に適しています。	—
	キッズ	動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を健康的に上げます。	—
	ペット	動き回るペットの撮影に適しています。	—
	スポーツ	スポーツなど動きの速い被写体の撮影に適しています。撮影するまでピントを合わせ続けます。	—
	夜景	夜景の撮影に適しています。ぶれに注意して三脚などで固定して撮影してください。	—
	夜景ポートレート	夜景での人物撮影に適しています。ぶれに注意して三脚などで固定して撮影してください。	—
	花火	花火の撮影に適しています。ぶれに注意して三脚などで固定して撮影してください。	—
	料理	料理の撮影に適しています。より鮮やかに仕上げます。	—
	高感度	ぶれを軽減して撮影するために、より高い感度を使用します。	—
	CALS	建設CALSに準拠した電子納品に適したサイズで記録します。	—

※ 上記の他にグリーンモードがあります。



-  (プログラム)、 (夜景)、 (動画)、 (デジタル顕微鏡)、 (手持ち夜景)、 (インターバル撮影)、 (インターバル動画)、 (ハイスピードカメラ)、 (高感度)以外の撮影モードでは、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスなどが自動的に各モードに最適な値に設定されています。
- 撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、設定できても動作に反映されない場合があります。
- 暗いシーンの撮影は、シャッター速度が遅くなります。手ぶれを防ぐには、手ぶれ補正機能を設定するか、カメラを三脚に取り付け、セルフタイマー(p.36)もしくはリモコンを使った撮影が有効です。

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後または2秒後に撮影されます。
セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚等に固定してください。

	シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。撮影者も含めて集合写真を撮る場合などに利用できます。
	シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影されます。手ぶれを避けるために利用できます。

1 モードで十字キー（▲）を押す

「ドライブモード」画面が表示されます。

2 十字キー（◀▶）でを選択し、十字キー（▼）を押す

3 十字キー（◀▶）で／を選択し、OKボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。

カメラが人物の顔を検出すると、顔検出機能が働き、顔検出枠が表示されます。



4 シャッターボタンを押して撮影する

カウントダウンを開始し、画像モニターに残りの秒数が表示されます。

の場合

セルフタイマーランプと、マクロ照明用LEDのすべてが点灯します。

撮影5秒前以降、マクロ照明用LEDが右上から順に消灯していきます。

撮影3秒前以降は、マクロ照明用LEDの消灯と同時に、セルフタイマーランプが点滅します。

の場合

セルフタイマーランプ、マクロ照明用LEDとも点滅します。

10秒または2秒のカウントダウン後、撮影されます。

注意

静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。



- (動画)、 (マーメイドムービー)、 (ハイスピードカメラ)モードでは、10秒後または2秒後に動画撮影が始まります。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。
- は (グリーン)モードの初期設定では選べません。ただし、他の撮影モードでを選んでから、撮影モードをモードに切り替えると、選べるようになります。
- (ペット)モードでは、セルフタイマーランプやマクロ照明用 LED は点灯・点滅しません。
- 以下の場合は、カウントダウンに関係なく、マクロ照明用 LED は点灯し続けます。
 - 撮影モードが (デジタル顕微鏡)モードの場合
 - 撮影メニューの「マクロ照明」を (オン)に設定している場合
- 撮影モードによっては、/は選択できません。

撮影のための機能を設定する

撮影メニューを設定する

撮影のための設定は主に「 撮影」メニューから行います。機能の設定方法は各機能の説明を参照してください。

1 静止画撮影モードでMENUボタンを押す

「 撮影」メニューが表示されます。

動画モード時にMENUボタンを押すと、「 動画」メニューが表示されます。

2 十字キーで設定する項目を選び、設定をする

設定を保存して撮影をしたいとき

3 設定完了後、MENUボタンを押す

撮影画面に戻ります。

設定が保存され、前の画面に戻ります。



 モードから「 設定」メニューを表示した場合は、 ボタンを押して モードに移行することもできます。

設定を保存して再生をしたいとき

3 ボタンを押す

 モードからメニュー画面を表示した場合は、設定が保存され、再生できる状態になります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

3 設定の途中でMENUボタンを押す

変更が取り消されメニュー項目を選択できます。



- ・撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、設定できても動作に反映されない場合があります。
- ・**MENU** ボタンの機能は、画面の状態によって異なります。ガイド表示を参照してください。

MENU 終了 メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。

MENU ⏮ 現在の設定のまま、ひとつ前の画面に戻ります。

MENU 取消 現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、ひとつ前の画面に戻ります。

フラッシュの発光方法を選択する

	オート	暗いときや逆光のときにフラッシュが自動的に発光します。
	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。フラッシュが使えない場所での撮影にご利用ください。
	強制発光	明るさにかかわらず、常にフラッシュを発光します。
	オート+赤目	フラッシュの光が目には反射して赤く写るのを軽減します。自動的にフラッシュを発光します。
	強制+赤目	フラッシュの光が目には反射して赤く写るのを軽減します。常にフラッシュを発光します。



- ・撮影モードや設定したフォーカスモード、ドライブモードによっては選択できる機能が異なります。
- ・ のときに顔検出された場合、自動的に になります。
- ・赤目軽減機能を使用した場合は、本発光の前にプリ発光(予備発光)を行います。

注意

近距離撮影時にフラッシュを発光させると、フラッシュの配光にムラができる場合があります。

1

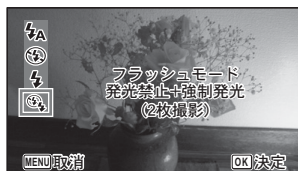
📷モードで十字キー (⬅) を押す

「フラッシュモード」画面が表示されます。押すたびに発光方法が切り替わります。十字キー (▲▼) でも切り替えられます。



📷(マーマード)のときには、右図のように🔦(発光禁止 + 強制発光(2枚撮影))が🔦(オート + 赤目)、🔦(強制 + 赤目)の代わりに表示されます。

🔦(発光禁止 + 強制発光(2枚撮影))を選ぶと、🔦(発光禁止)と🔦(強制発光)の2枚の写真を連続して撮影します。撮影した後には写りのいい画像を選ぶことができます。



2

OK ボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態になります。

フラッシュ撮影の赤目現象について

フラッシュ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にフラッシュの光が反射して発生する現象です。赤目現象は、人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くして広角側で撮影すると、発生しにくくなります。また、フラッシュの発光方法を🔦(オート+赤目)や🔦(強制+赤目)にするのも有効です。

ピントの合わせ方を選ぶ (フォーカスモード)

AF	標準	被写体までの距離が50 cm～∞の範囲でピント調整を行います。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
🔦	マクロ	被写体までの距離が10 cm～60 cmの範囲でピント調整を行います。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
🔦	1cmマクロ	被写体までの距離が1 cm～30 cmの範囲でピント調整を行います。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
PF	パンフォーカス	他の人に撮ってもらうときや、車や電車の窓越しに外の風景を撮るときなどに使用します。手前から奥までピントが合うようになります。
▲	無限遠	遠くにあるものを撮影するときに使用します。フラッシュは🔦(発光禁止)となります。
MF	マニュアルフォーカス	手動でピントを合わせます。

1

☑モードで十字キー（▶）を押す

「フォーカスモード」画面が表示されます。押すたびにフォーカスモードが切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。



2

OK ボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態になります。



- ・撮影モードによって、選択できる機能が異なります。
- ・ (動画) (Movie), (マーメイドムービー) (Mermaid Movie), (ハイスピードカメラ) (High Speed Camera) モードでフォーカスモードの PF、▲ 以外を選択した場合、撮影中のピント合わせ時の作動音が音声録音に入ります。
- ・オートマクロをオンのときに を選択して撮影する場合、被写体までの距離が60cmより遠いと、自動的に∞(無限遠)までのピント合わせが行われます。

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

MFでのピント合わせを説明します。

1

☑モードで十字キー（▶）を押す

「フォーカスモード」画面が表示されます。

2

十字キー（▶）を押してMFを選ぶ

3

OK ボタンを押す

画面中央部が画像モニターいっぱいに拡大して表示されます。

4

十字キー（▲▼）を押す

画像モニターに MF バーが表示され、おおよその距離が表示されます。これを目安に十字キー（▲▼）でピントを合わせます。

- ▲ 遠くにピントが合う
- ▼ 近くにピントが合う



MFバー

OK ボタンを押す

フォーカス位置が決定し、撮影できる状態になります。
フォーカス位置を決定させた後、もう一度十字キー（▶）を押すと、**MF** バーが表示され、ピントを合わせ直すことができます。

注意

MF バーが表示されている間は、撮影モードやドライブモードを変更できません。



MF から他のフォーカスモードに切り替えるときは、**MF** バーが表示されている間に十字キー（▶）を押してください。

動画を撮影する

動画を撮影する

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

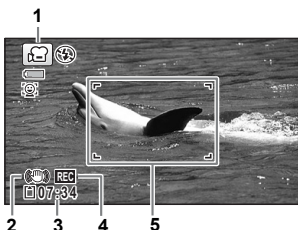
1 撮影モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で🎥(動画)を選ぶ

2 OK ボタンを押す

🎥(動画) モードが選択され、撮影できる状態になります。

画像モニターに次の情報が表示されます。

- 1 動画モードアイコン
- 2 手ぶれ補正アイコン
- 3 撮影可能時間
- 4 録画中アイコン (録画中に点滅)
- 5 フォーカスフレーム (録画中は表示されません)



ズーム/W/Tボタンを押すと、被写体の写る範囲が変わります。

T 被写体を拡大して写す

W 被写体を広い範囲で写す

3 シャッターボタンを全押しする

録画が開始されます。録画は最大で25分まで可能です。

4 シャッターボタンを全押しする

録画が終了します。

動画を再生する  p.45



- ・フォーカスモードは、撮影開始前に変更することができます。
- ・フォーカスモードを **MF**(マニュアルフォーカス)に設定している場合は、撮影開始前にも撮影中にもピントを調整することができます。
- ・撮影モードを  (動画)にすると、顔検出機能がオンになります。動画の撮影を開始する前にスマイルキャッチ機能を選択するか、または顔検出機能をオフにできます。スマイルキャッチ機能が選択されている場合は、笑顔を検出すると自動的に動画の撮影が開始されます。ただし検出した顔の条件によっては「スマイルキャッチ」機能が働かず、自動的に動画の撮影が開始されないことがあります。その場合は、シャッターボタンを押すと撮影が開始されます。
- ・SD メモリーカードはスピードクラスが Class 4 以上のものを使用してください。
- ・ では、静止画を撮影するモードと写る範囲が異なります。

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている間だけ動画が撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画ボタンで簡単に動画を撮影する

このカメラでは、撮影モードパレットで  (動画) モードを選択しなくても、動画ボタンを押すだけで簡単に動画撮影を開始／終了することができます。撮りたいものをすぐに撮影したいときに便利です。

1

動画ボタンを押す

録画が開始されます。録画は最大で25分まで可能です。

2

動画ボタンを押す

録画が終了されます。



- ・撮影中にシャッターボタンを押しても、撮影を終了することはできません。撮影を終了するときは、必ず動画ボタンを押してください。
- ・撮影モードが  (動画)、 (マーマードムービー)、 (デジタル顕微鏡)、 (インターバル撮影)、 (ハイスピードカメラ)、 (インターバル動画)、 (ペット)のとき、および  モードのときは、動画ボタンを押しても撮影が開始されません。
- ・動画ボタンで撮影するときは、「 動画」メニューの初期値の設定で撮影されます(p.27)。

再生する

静止画を再生する

1 撮影後に▶ボタンを押す

▶モードになり、撮影した画像が画像モニターに表示されます。また、▶モード時に画像が1枚だけ表示されている状態（初期状態）を「1画面表示」と呼びます。

ファイル番号



前後の画像を再生する

2 十字キー（◀▶）を押す

前後の画像が表示されます。

表示した画像を消去する

画像表示中に⏏ボタンを押すと、表示中の画像を消去する画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選びOKボタンを押すと、表示中の画像を消去できます。



動画を再生する

動画を再生します。動画再生時には、音声も同時に再生されます。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2 十字キー（▲）を押す

再生が始まります。



再生中にできる操作

十字キー (▲)
ズーム/ⓧ/Q ボタン (Q)
ズーム/ⓧ/Q ボタン (ⓧ)
十字キー (▶) 長押ししている間
十字キー (◀) 長押ししている間

一時停止
音量を大きくする
音量を小さくする
早送り再生
早戻し再生

一時停止中にできる操作

十字キー (◀) コマ戻しする (*)
十字キー (▶) コマ送りする
十字キー (▲) 再生を再開

(*) コマ戻しで戻るコマの位置は、30コマごとの先頭のコマになります。例えば、2~31コマ目からコマ戻しした場合は1コマ目に、32~61コマ目からは31コマ目に戻ります。

3

十字キー (▼) を押す

再生が停止します。

注意

動画はこのカメラで撮影したもののみ再生できます。他のカメラなどで撮影した動画は再生できません。

再生機能を使う

1

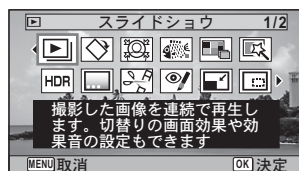
▶モードで十字キー (▼) を押す

再生モードパレットが表示されます。

2

十字キー (▲▼◀▶) でアイコンを選ぶ

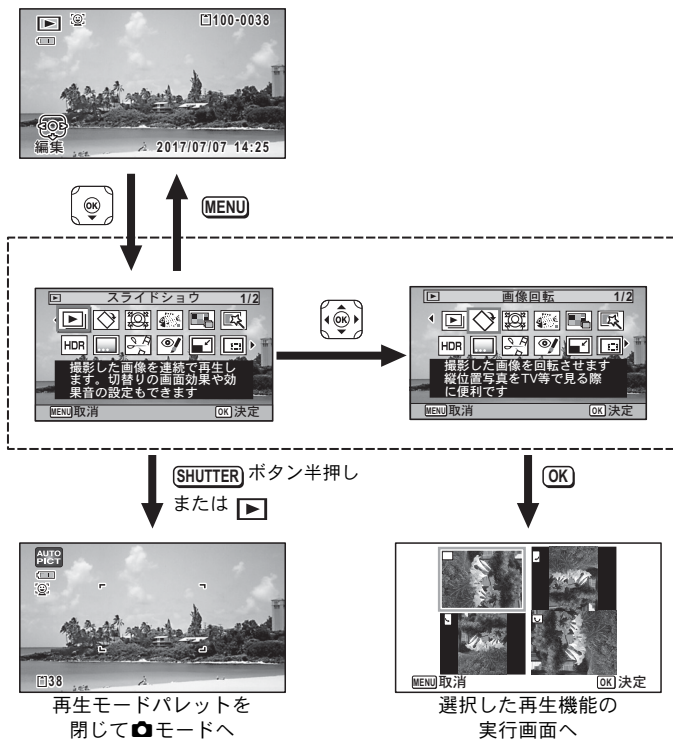
選択した機能の説明が下に表示されます。



3

OK ボタンを押す

再生機能が呼び出されます。



- 再生モードパレットの各アイコンに選択枠を合わせると各機能の説明がガイド表示されます。

再生モードパレット一覧

再生モード		内容	初期設定
	スライドショウ	撮影した画像を連続で再生します。切り替わりの画面効果や効果音の設定もできます。	—
	画像回転	撮影した画像を回転させます。縦位置写真をTVなどで見る際に便利です。	正位置
	小顔フィルター	検出した顔が小さくなるように画像を加工します。	約7%
	魚拓フィルター	撮影した画像を魚拓風に仕上げます。	— (中)
	コラージュ	撮影した複数の画像を1枚の画像にします。	—
	デジタルフィルター	撮影した画像にカラーフィルターやソフトフィルターをかけて仕上げます。	白黒／セピア
HDR	HDRフィルター	ハイダイナミックレンジ画像のような加工をします。	—
	オリジナルフレーム	枠の種類や色を選んで作成します。文字も入力できます。	4方向／白
	動画編集	静止画保存	—
		動画分割	
		タイトル画像追加	
	赤目補正	赤目になった画像を修正します。元画像によっては正しく補正できない場合があります。	—
	リサイズ	撮影した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを小さくします。	元画像による
	トリミング	画像の不要な部分を削除して好みの大きさに変更します。新規保存されます。	元画像による
	画像コピー	内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像のファイルをコピーします。	内蔵メモリー → SDカード
	プロテクト	消したくない画像を保護します。ただしフォーマットを行うと、消去されます。	画像による
	起動画面設定	撮影した画像をカメラの起動時に表示するよう設定します。	デフォルト

消去する

失敗したり、不要になった画像を消去します。

1 画像ずつ消去する

1 画像ずつ消去します。

注意

プロテクトされている画像は消去できません

1  モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像を選ぶ

2  ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「消去」を選ぶ



4  ボタンを押す

消去されます。

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	約1600万画素	
撮像素子	1/2.3型CMOS	
記録画素数	静止画	16M (4608 x 3456)、 12M (3456 x 3456)、 12M (4608 x 2592)、 7M (3072 x 2304)、 5M (3072 x 1728)、 5M (2592 x 1944)、 4M (2592 x 1464)、 3M (2048 x 1536)、 2M (1920 x 1080)、 1024 (1024 x 768)、 640 (640 x 480)
		※ デジタル顕微鏡モード時は 2M ※ 高速連写時は 5M / 4M ※ CALSモード時は 3M / 2M / 1280 ※ オリジナルフレーム時は 5M / 4M
	動画	1920 (1920 x 1080・30fps)、 1280 (1280 x 720・60fps) 1280 (1280 x 720・30fps)
感度	オート、マニュアル (ISO 125、200、400、800、1600、3200、6400) ※ 高感度モード時はAUTO (125~6400) に固定	
記録方式	静止画	JPEG (Exif2.3準拠)、DCF2.0準拠、PRINT Image Matching III対応
	動画	MPEG-4 AVC/H.264、約60fps/約30fps(フレーム/秒)、PCM方式・モノラル音声付、Movie SR (動画手ぶれ補正)
画質	静止画	★★★ (S.ファイン)、★★ (ファイン)、★ (エコノミー)
	動画	★★★ (S.ファイン) 固定 ※変更不可
記録媒体	内蔵メモリー (約68 MB)、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード (512 GBまで)、Eye-Fiカード	

撮影枚数と時間

静止画

	内蔵メモリー			2 GB SDメモリーカード		
	★★★	★★	★	★★★	★★	★
16M (4608 x 3456)	13枚	23枚	38枚	370枚	653枚	1078枚
12M 181 (3456 x 3456)	15枚	30枚	46枚	435枚	853枚	1307枚
12M 169 (4608 x 2592)	15枚	30枚	46枚	435枚	853枚	1307枚
7M (3072 x 2304)	23枚	43枚	69枚	653枚	1205枚	1921枚
5M 169 (3072 x 1728)	27枚	53枚	76枚	778枚	1499枚	2119枚
5M (2592 x 1944)	27枚	53枚	76枚	778枚	1499枚	2119枚
4M 169 (2592 x 1464)	36枚	69枚	99枚	1024枚	1921枚	2794枚
3M (2048 x 1536)	43枚	85枚	124枚	1205枚	2364枚	3415枚
2M (1600 x 1200)	69枚	124枚	167枚	1921枚	3415枚	4728枚
2M 169 (1920 x 1080)	63枚	114枚	167枚	1756枚	3235枚	4728枚
1280 (1280 x 960)	99枚	181枚	256枚	2794枚	5122枚	6830枚
1024 (1024 x 768)	150枚	256枚	335枚	4098枚	6830枚	8782枚
640 (640 x 480)	311枚	484枚	545枚	8782枚	12295枚	15368枚

- 撮影枚数は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影枚数は異なることがあります。
- **2M** (1600 x 1200) **1280** (1280 x 960) は  (CALS) モード時だけの記録サイズです。

動画

	内蔵メモリー	2 GB SDメモリーカード
1920 (1920 x 1080・30fps)	34秒	17分2秒
1280 (1280 x 720・60fps)	34秒	17分2秒
1280 (1280 x 720・30fps)	55秒	27分38秒

- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。
- 動画で連続記録できるのは1回につき25分までです。

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯（昼光色、昼白色、白色）、マニュアル	
レンズ	焦点距離	5.0～25.0 mm (35 mm判換算値：約28～140 mm相当)
	開放絞り	F3.5 (W) ～F5.5 (T)
	レンズ構成	9群11枚（非球面レンズ5枚使用）
	ズーム方式	電動式
光学ズーム	5倍	
インテリジェントズーム	$\overline{7M}$ ：約7.5倍、 $\overline{5M}$ ：約7.5倍、 $\overline{5M}$ ：約8.9倍、 $\overline{4M}$ ：約8.9倍、 $\overline{3M}$ ：約11.3倍、 $\overline{2M}$ ：約12倍、 $\overline{1024}$ ：約22.5倍、 $\overline{640}$ ：約36倍（光学ズームと合わせたズーム倍率）	
デジタルズーム	最大約7.2倍（光学5倍ズームと合わせ、最大36倍ズーム相当のズーム倍率）	
手ぶれ軽減	静止画	電子式手ぶれ補正、高感度ぶれ軽減モード
	動画	電子式（Movie SR）
画像モニター	2.7型（ワイド）約23万ドットLCD（ARコート（カバーのみ））	
再生機能	1コマ、6画面、12画面、拡大（最大10倍まで、スクロール可）、フォルダー表示、カレンダー表示、ヒストグラム表示、白とび・黒つぶれ表示、選択消去、スライドショー、リサイズ、トリミング、画像コピー、画像回転、デジタルフィルター、HDRフィルター、オリジナルフレーム、魚拓フィルター、コラージュ、小顔フィルター、動画再生・編集（静止画保存、分割、タイトル画像追加）、赤目補正、プロテクト、起動画面設定	
フォーカスモード	オートフォーカス、マクロ、1cmマクロ、パンフォーカス、無限遠、マニュアルフォーカス	
フォーカス	方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 マルチ（9点AF）／スポット／自動追尾切替可
	フォーカス範囲	標準：0.5 m～∞（ズーム全域）
		マクロ：0.1 m～0.6 m（ズーム全域）
		1cmマクロ：0.01 m～0.3 m（ズーム域の中間部から望遠側）
	※ 無限遠、パンフォーカス、マニュアルフォーカス切替可 ※ 顔検出中のみ、顔検出AF可	
露出制御	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割、中央重点、スポット）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
顔検出	最大32人まで検出可（画像モニターに表示される顔検出枠は最大31個）、スマイルキャッチ、まばたき検出、自分撮りアシスト、自分撮りアシスト+スマイルキャッチ ※顔検出中のみ、顔検出AE可	
ペット検出	検出数：1	
撮影モード	オートピクチャー、プログラム、HDR、手持ち夜景、動画、マーマード、マーマードムービー、デジタル顕微鏡、風景、花、ポートレート、インターバル撮影、インターバル動画、ハイスピードカメラ、高感度、サーフ&スノー、キッズ、ペット、スポーツ、夜景、夜景ポートレート、花火、料理、CALS、グリーン	

デジタルフィルター	白黒／セピア、トイカメラ、レトロ、カラー（赤、桃、紫、青、緑、黄）、色抽出（赤、緑、青）、色強調（晴天、新緑、花見、紅葉）、ハイコントラスト、トゥインクル（クロス、ハート、星）、ソフト、フィッシュアイ、明るさ、ミニチュア	
動画	連続録画時間	約1秒～25分（ただし内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱいまで）
シャッタースピード	1/4000～1/4秒（メカニカルシャッターと電子シャッターの併用）、最長4秒（夜景モード時）	
内蔵フラッシュ	発光モード	自動発光、発光禁止、強制発光、自動発光＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減、発光禁止＋強制発光（2枚撮影）（マーマードモードのみ）
	調光範囲	広角時 約0.2～5.5 m（感度オートの条件において） 望遠時 約0.2～3.5 m（感度オートの条件において）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影（約10秒後、約2秒後）、連続撮影、高速連写、リモコン撮影（即、約3秒後）、オートブラケット撮影	
セルフタイマー	電子制御式、制御時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）
	スタイルウォッチ	電源オフ時にOKボタン長押しで時刻表示（約10秒間）
	アラーム	指定時間にアラームと同時にスタイルウォッチを表示
電源	専用リチウムイオンバッテリーD-LI92、ACアダプターキット（別売）	
電池寿命	撮影可能枚数 約300枚	※ 撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：画像モニターON、フラッシュ使用率50%、23℃）
	再生時間 約260分	※ 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
	動画撮影時間 約90分	※ 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
外部インターフェイス	USB 2.0（マイクロB）／HDMI出力端子（タイプD）	
防水・防塵性能	JIS防水保護等級8級、JIS防塵保護等級6級（IP68）準拠 水深14 m、連続2時間の水中撮影が可能	
耐衝撃性能	MIL-Standard 810F Method 516.5-Shockの測定方法に準じた、当社独自の基準（高さ：1.6 m、落下面：厚さ5 cm合板）での落下テストをクリア ※ 本製品をぶついたり落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証しません。 ※ すべての条件で無破損・無故障を保証するものではありません。	
外形・寸法	約122.5（幅）x 61.5（高）x 29.5（厚）mm（操作部材、突起部を除く）	
質量（重さ）	本体約173 g（バッテリー、SDメモリーカード含まず） 約193 g（バッテリー、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	専用バッテリー、充電用電源アダプター、USBケーブル、ストラップ、マクロスタンド、スタートガイド、防水・防塵・耐衝撃性能についての注意、保証書	

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か当社のサービスセンターまたは当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口へ直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただくと原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中〔ご購入後1年間〕は、保証書〔販売店印および購入年月日が記入されているもの〕をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様ににてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - ・ 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
 - ・ 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
 - ・ 火災・天災・地変等による故障。
 - ・ 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
 - ・ 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
 - ・ お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

「使用説明書」のご案内

本機の詳しい使い方を説明している「使用説明書」（PDF）をご用意しています。当社ホームページからダウンロードしてご利用ください。

当社ホームページ

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/>

「使用説明書」ダウンロード

<http://www.ricoh-imaging.com/manuals/>



ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。当社ホームページから登録が可能です。

<http://www.ricoh-imaging.com/registration/>

リコーイメージングホームページアドレス <http://www.ricoh-imaging.co.jp/>

本製品に関するお問い合わせ <http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

＜お客様相談センター＞

営業時間 9:00～17:30 (平日)



ナビダイヤル 0570-001313

10:00～17:00 (土・日・祝日)

【市内通話料金でご利用いただけます】 休業日 年末年始およびビル点検日

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL: 03-4330-0008 (代) にお掛けください。

修理受付

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html>

＜修理受付センター／ピックアップリペアサービス申し込み＞

営業時間: 9:00～17:00 (土・日・祝日・弊社特別休業日 休業)



ナビダイヤル 0570-001301

【市内通話料金でご利用いただけます】

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL: 03-4330-0014 にお掛けください。

※ピックアップリペアサービスは、全国（離島など一部地域を除く）どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサービスです（全国均一料金）。インターネットからもお申し込みいただけます。

なお、弊社修理受付後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

＜修理受付窓口＞【宅配】【郵送】

TEL: 03-3966-6121 FAX: 03-3960-5158

営業時間: 9:00～17:00 (土・日・祝日・弊社特別休業日 休業)

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11ヘリオスⅡビル3F リコーイメージング株式会社東京サービスセンター内

＜東京サービスセンター＞【窓口】

TEL: 03-3960-5140 FAX: 03-3960-5147

営業時間: 9:00～17:00 (土・日・祝日・弊社特別休業日 休業)

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11ヘリオスⅡビル3F

ショールーム・ギャラリー

＜リコーイメージングスクエア新宿＞

TEL: 03-3348-2941 ※修理受付も承ります

営業時間: 10:30～18:30 (火曜日・ビルの施設点検日・年末年始 休業)

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB (中地下1階)

＜リコーイメージングスクエア銀座＞

TEL: 03-3289-1521

営業時間: 11:00～19:00 (火曜日・ビルの施設点検日・年末年始 休業)

〒104-0061 東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター9F

＜リコーイメージングスクエア大阪＞

TEL: 06-6271-7996(代) ※修理受付も承ります

営業時間: 9:00～17:00 (土・日・祝日・弊社特別休業日 休業)

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

リコーイメージング株式会社

〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6 (株) リコー大森事業所内

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

55610

R01BAC17
Printed in Indonesia